進路通信

-よりよい進路をめざして-

令和5年 3月23日 第9号
県立こやの里特別支援学校
進路指導部発行

関西では「お水取りが終わると春が来る」と昔から言われていますが、ここ兵庫県でもスーパーにいかなごが並びだしました。まだまだ肌寒い日もありますが、確実に春の訪れを感じるようになりました。本校でも、高等部に続き、小中学部の卒業式も終わり、まもなく終業式を迎えようとしています。今年度も進路指導部の取組にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

この1年間の進路通信では、「高等部の卒業までに身につけたい力」についてお伝えしてきたかと思います。各号によって表現や項目は異なりますが、今回は次の5項目（下の表を参照）を挙げたいと思います。

繰り返しお伝えしていますが、お子様の年齢（学部）や発達段階、障がいの特性等によって、現時点で取り組む内容は異なります。本校でも、各学部や学年などで、これらの力が身につくように日々の授業や学校教育を大切にしています。例えば、「基本的生活習慣」の身だしなみでは、<着替え→身だしなみに注意できる→場に応じた服装ができる>とステップアップしていけるような取り組みをしています。しかしながら、学校の取組だけで身につくものではありません。一方保護者ご家庭だけが取り組んでも成り立つものではないと考えます。児童生徒一人ひとりの将来を見通した指導や養育について内容や方法を整理するとともに、学校や関係機関、保護者が相互に連携しながら一貫した取組を行うことがよりよい進路実現に繋がると考えています。来年度も、引き続きよろしくお願いいたします。

卒業までに身につけたい力

基本的生活習慣

健康管理、日常生活動作、身だしなみ等

意欲・態度

積極性、責任感、挨拶・服装・言葉遣い等マナーやルール遵守等

コミュニケーション能力

対人関係、協調性、場に応じた会話、適切な人間関係等

道具・情報機器等の操作

集中力、作業動作、安全面の理解、作業内容等の理解等

余暇活動

スケジュール管理、金銭管理、交友関係等

裏面へ続く⇒

～「進路学習 week」の実施について～

２月７日（火）に、高等部１年生の保護者を対象とした進路説明会を行いました。当日は今の時点で決まっていることや、今後の流れを説明させていただきました。説明した一部を紹介します。

◆進路学習 week とは？

→令和５年度より、高等部２年生を対象に行う進路指導のひとつです。今までは高等部２年生の６月に校内実習（５日間）を実施していましたが、来年度より進路学習 week の実施期間中に事業所へ体験実習に行きます。また、その準備として、１年生の校内実習を３日間から５日間へ増やしました。

◆体験実習と現場実習の違いは？

→**「体験実習」は、現場で実際に働いている人の様子を見たり、仕事を体験したりする中で、現場実習に向けて見通しを持つ実習です。卒業後の進路に向けて考える機会としています。**

「現場実習」は、卒業後に利用したいと考える事業所で実際に実習をし、本人に合う事業所であったか、通うことのできる事業所であったかなどを検討するための実習です。

◆日程は？

→令和５年６月１９日（月）～２３日（金）です

１９日（月）と２３日（金）の２日間は校内で事前および事後学習などを行います。

２０日（火）～２２日（木）の３日間は事業所に体験実習に行きます。

３年生の現場実習は例年通り6月初旬に予定しています。進路先を見据えた大切な実習となるため、進路学習 week が３年生の実習に影響が出ないように調整しております。

≪新設事業所の紹介≫　　※下記の４事業所とも、送迎については、要相談とのことです。

○たからづかローズ（就労継続支援 B 型）：宝塚市

軽作業を中心にお仕事されていますが、ブリザードフラワーを使用した物づくりもされています。また、同じ建物内にグループホームも併設しています。

○hana（就労継続支援 B 型・自立訓練）：宝塚市

１００円均一ショップの内職をメインとしていますが、施設外就労も実施しています。

○れもんの木（就労継続支援 B 型）：宝塚市

軽作業を中心にお仕事されています。土曜日の出勤時に興味のある方には小物アクセサリーづくりもされています。

○せかんど（生活介護）：伊丹市

あんさんぶる（生活介護）が、今までより少しお仕事ができる利用者を対象に、新しく事業所を開設しました。